

平成22年度 鳩ヶ谷市環境市民会議 【報告書】



浄水場駐車場での打ち水モデル事業の様子

『地域で取組む温暖化対策』
～鳩ヶ谷の温度を1度下げよう～

平成22年11月

目 次

	ページ
1 はじめに	1
① 会議の目的	
② テーマ	
③ 参加者	
④ 会議の経過	
2 現状と課題	5
3 提 言	8
① 打ち水事業	
② 花と緑の街に	
③ 鳩ヶ谷のハート時間	
④ 我が家のエコシート	
⑤ 道路照明灯・防犯灯などのLED化の推進	
⑥ エコドライブの啓発	
4 まとめ	12
5 資 料	15
① 打ち水モデル事業報告	
② 我が家のエコシート	
③ エコドライブ10のすすめ	
6 個人のコメント	19
環境市民会議 参加者コメント	

① 会議の目的

現在の様々な環境問題に対処し、地域の環境を良くするためには、市民・事業者・行政などの各主体が自発的に環境保全活動を実践し、また、相互に連携してこの活動に取り組むことが重要です。

鳩ヶ谷市では、このような認識にたって市民の声を幅広く聞くため、「鳩ヶ谷市環境市民会議」を次のような主旨で立ち上げ3年度目の開催となりました。

- ・ 参加者が自主的・自発的に意見や考えを交換する。
- ・ 環境に関する様々な問題や課題を共有し、必要に応じて行政に提案する。
- ・ 環境に関する様々な考えを持つ人や取組み・活動を行っている人をつなぎ、新たな活動等に活かすネットワークづくりの場とする。

このことを受けて、環境市民会議では、参加者の環境に関する意見を集約し、提案や活動について話し合うことを目的としています。

② テーマ

～鳩ヶ谷の温度を1度下げよう～

「市民生活における環境問題について～地域で取組む温暖化対策～」という大きなテーマを基に、「鳩ヶ谷の温度を1度下げよう」というサブテーマを決定し、より身近な問題として話し合うことにしました。

③ 参加者

参加者は、会議の趣旨に賛同した公募及び推薦による市民10名です。

【参加者】

阿 部 まち子 (公 募)
河 端 輝 一 (公 募)
四 條 延 子 (鳩ヶ谷市環境審議会委員)
肥留間 広 幸 (公 募)
宮 元 恒 男 (公 募)
村 上 綾 子 (公 募)
安 田 さち代 (公 募)
安 田 茂 (公 募)
山 本 晃 嗣 (旧芝川水辺再生事業県・市との協働推進者)
和 知 幸 子 (公 募)

《 敬称略・五十音順 》

【アドバイザー】

環境省環境カウンセラー

埼玉県環境アドバイザー

NPO法人川口市民環境会議代表理事

浅羽 理恵

《 敬称略 》

また、第1回会議において、参加者の互選により座長・副座長を次のとおり決定しました。

【座 長】 安 田 茂

【副座長】 四 條 延 子 山 本 晃 嗣

《 敬称略 》

④ 会議の経過

【選任式・第1回会議】 平成22年 7月23日（金）

選任式開催。市長より挨拶。

今後の会議の進め方の参考として、アドバイザーによる講演を受講。

演 題 「地域から環境問題に取り組むには？」

講 師 アドバイザー 浅羽 理恵 氏

メンバーの自己紹介（会議に参加した動機等）をしました。

【第2回会議】 平成22年 8月 9日（月）

「市民生活における環境問題について～地域で取り組む温暖化対策～」

に関し、課題や意見を出し合い討議を行い、「鳩ヶ谷市の温度を1度下げよう」というテーマに決まりました。

【第3回会議】 平成22年 8月25日（水）

第2回会議でそれぞれの意見をまとめ、夏の取組みとして打ち水について話し合いをし、モデル事業を行うことにしました。

【第4回会議】 平成22年 9月 7日（火）

打ち水モデル事業の報告と「CO₂削減」を軸に今後のテーマについて話し合いをしました。

【第5回会議】 平成22年 9月27日（月）

報告書の作成にあたり、「提言」の部分でメンバーが提案した案について討議を行い、一緒にできる部分や変更点について確認しました。また、現状と課題やまとめの部分において内容の確認を行い、割り振りをしました。

【第6回会議】 平成22年10月14日（木）

報告書の「現状と課題」及び「提言」の部分について確認を行いました。鳩ヶ谷市の現状と打ち水事業の提言について追加することを検討し、次回の会議で調整することになりました。

【第7回会議】 平成22年11月 2日（火）

これまでの報告書の内容を確認しながら、提言の中に「花と緑」に関するテーマを盛り込むことを検討し、併せて提言の順位やまとめについて確認しました。

また、追加会議として11月17日に編集会を行うことを決めました。

【編集会】 平成22年11月17日（水）

鳩ヶ谷市環境市民会議報告書の調整及び校正を行いました。

【写真】

会議の様子



鳩ヶ谷が町だった頃は、まだまだ田んぼや畑があり、扇風機かうちわで夏を過ごせたかと思います。時を経て、戦後の日本は高度成長期に入り、鳩ヶ谷町が鳩ヶ谷市になり、その頃になると隣接する東京にも、高層ビルが立ち並び始め、エアコンの初期、クーラーがオフィス及び家庭に設置され、田畑が消え住宅になりそしてマンションが立ち並ぶ街になってきました。

都会の温暖化が叫ばれる今、鳩ヶ谷市も例外ではなく、風が通る隙間のない街になり、その街中でエアコンが唸り、温風を噴出している現状は、当然温暖化を止める状態ではなく、まして今年のような猛暑では、さらに温度上昇を進めているような状況です。この状態から、『地域で取組む温暖化対策・鳩ヶ谷市の温度を1度下げよう』ととりあえず打ち水で効果を出そうと試み、部分及び範囲ではそれなりの効果が得られたようですが、温暖化対策には程遠いものがあります。

しかし、この打ち水をきっかけに、自治会及び各種団体に協力をお願いし、鳩ヶ谷市内の皆さんが温暖化の進んでいる現状を把握し、エコ及びCO₂削減に、協力及び興味を持っていただくことが今後の課題ではないでしょうか。

まず、地球温暖化を考えますと、必ず聞かれるものが温室効果です。温室効果とは、大気圏外に放出されるべき熱が、温室の被服資材の役割にあたる温室効果ガスといわれているものによって熱がこもり、地球全体の温度を徐々に上げてしまっている状態のことを言います。温室効果に一番かかわっているのは水蒸気であり、またメタンガスは二酸化炭素よりも大きな温室効果を生み出すともいわれています。

二酸化炭素だけでいえば、産業革命以前は、地球上の二酸化炭素濃度は0.028%前後で推移してきていましたが、化石燃料を消費する道具や品物が増えたことで、100年の間に0.038%（「IPCC第4次評価報告書2007」による）まで上昇しました。メタンガスでは、ヒツジ、牛など草食動物（反芻動物）のゲップによっても放出されます。極端に言いますと、森林を切り開いた海外の牧場で飼育された牛を使ったハンバーガーを国内で食べるとい

うことは、二酸化炭素の吸収（固定）をしない樹木をなくして、メタンガスを放出する牛を飼育し、二酸化炭素を放出する船・飛行機で輸入するということ（産業）を後押ししているということです。地球温暖化とは、地球大気内全体の気温上昇であり、氷河や流氷の減少というのは地球温暖化の影響の一つと考えられます。

気温が暑いなど感じるものの現象のもうひとつに「ヒートアイランド」というものがあります。地球温暖化を大気候（広い地域にわたる気候）とするなら、ヒートアイランドは小気候（10km程度以下の狭い地域の気候）、微気候（地面近くの気層の気候）に類すると思います。

ヒートアイランド現象とは、ある地域の温度分布を等温図で表すと都市部（人口集中地区や、大規模商業地など）が島のように浮き上がり「熱の島」のように見えることが由来です。都市部が暑ければ、ヒートアイランドは顕著に起きます。都市部が暖かく（暑く）なる原因は人口排熱や都市の構造にあるようです。緑地、水辺の減少、地面の舗装などで降水等の浸透ができず、蒸散蒸発がおきにくい環境になってしまいました。アスファルト、コンクリートなどの舗装や、人工物による蓄熱（熱吸収）の増加があります。一般住宅、店舗、オフィスなどの過度な冷暖房による排熱、オフィスビルにいたってはOA機器の排熱、高層ビル、マンションなどによる空気の流れの遮蔽等理由はいろいろあります。

鳩ヶ谷市でも生産緑地地区の減少、屋敷林を持った住宅の宅地化など、緑地の減少はもとより、既存のマンションだけでなく建築中のマンションもいくつかありますので、人工物の増加や人口排熱による放熱、排熱は増加していく方向です。

冬の諏訪湖畔の狭い範囲の気温分布を調べたデータを見たことがあります。都市図と気温分布図をトレースすると、建造物の多いところでは気温が高くなりますが、風の働きによって、諏訪湖の涼しい空気が風下に広がり、ヒートアイランドというような、顕著な浮き上がりは見られませんでした。鳩ヶ谷市でも、新旧芝川・見沼代用水・湧水公園などの水辺があり、また、氷川神社、法性寺といった緑豊かな地域もあるので、空気の流れをうまく誘導できるような街づくりを行

えば、ヒートアイランドも等温密度のゆるやかな島に代わると思います。

定期的・効果的な打ち水で、夏の涼しい夜を作る（熱帯夜を減らせればすごい！と思いますが）と空調を使わず、自然の風を楽しむということになると思います。

また、今年は生物多様性年です。生物多様性が健全にあることによって、生態系サービスが受けられます。生態系サービスは日本人が昔から使っている「自然の恵み」という言葉もあてはまると思います。二酸化炭素を吸収し、酸素を供給してくれている植物は人間が一番恩恵を受けている「自然の恵み」ではないでしょうか？

① 打ち水事業

7月～9月の3ヶ月間、毎月第4日曜日に自治会・商工会・商店会・小中学校等の協力を募り、打ち水事業を実施することを提言します。小中学校には夏休みに入る前に学校に協力をお願いし、自治会には月初に行われる会議において協力をお願いをします。また、商工会・商店会のご協力も求め、広報も活用し、市内全域で取り組むことができるようにしたいと思います。また、大きなイベント等と日にちが重なり事業の開催が難しい場合には、事前に協議して変更をする予定です。浄水場に設置してある自動気温測定器と赤外線温度計を使って、開催日を含め前後3日間の温度を測定し、打ち水による効果の検証も行っていきたいと考えています。

打ち水は元々、日常玄関を掃き清めて打ち水をしていたもので子どもから大人までできるものであり、今日では各都市で多くの方が参加する一大イベントとなっていますので、今後大いに盛り上がれば良いと思います。

○ 雨水浸透ますの設置

打ち水イベントに併せて温暖化の防止ということで、各家庭に雨水浸透ますを設置することも提案します。これにより、雨水が地下に浸透することで多くの効果が期待できます。地中への保水力が高まり、湧水泉が確保されます

地中に水を還元・浸透させることは、鳩ヶ谷の湧き水の水源を確保する上で重要なことであり、利用の促進を提案します。

○ 透水性舗装の導入や街路樹の推進

鳩ヶ谷市は地下鉄が開通したことで都市開発が進み、道路の拡張と宅地造成が行われ、マンション建設によって緑が少なくなっています。また、市民が快適な生活を望むことにより、エアコンの普及、道路整備、車の排気ガスや電気・ガスの使用でヒートアイランド現象と温暖化現象が加速しています。

まちづくりとして透水性舗装を導入するなどの環境を考えた呼吸する道路づくりと、街路樹を増やすことなどを市でも推進していただきたいと考えます。

○ 気温分布確認のために数か所の定点観測

アスマン通風乾湿計※のような、気温測定誤差が少ないものを選び、定点観測を行い、気温の移り変わりを確認したいと思います。精度の高い寒暖計を使うことで、報告書の質も上げることができると思います。

※ アスマン通風乾湿計は、気温と湿度測定の基準となるもので、屋内外を問わず、手動で気温湿度を正確に測定します。

② 花と緑の街に

鳩ヶ谷市の30年前は、あちらこちらに田が広がり、野原もありました。そこには、オタマジャクシ、カエル、ザリガニ、バッタ、カマキリ、クローバー、タンポポ、ツクシ等いろいろな虫や草花を目にしたものです。里地区の諏訪山には木々が生い茂りドングリを拾い楽しみました。現在は家が立ち並び、山はマンションになりコンクリートで固められました。また、家々は近代化し囲まれていた大木はなくなり屋敷林が減少しました。減少し続けていく自然・・・

鳩ヶ谷市の温度を1度下げる方法としてこれ以上緑を減らさずに、少しずつ増やしていきたいと考えます。

- ・まずは、市役所をはじめ、公共の敷地から増やしていく！
- ・私有地には自然保護の支援策を！

また“花”も虫や蝶などの生物との共存に必要なもので、花を育てることから環境に興味を持ち、環境を考える心の育成に不可欠なものと考えます。

鳩ヶ谷の街が、花や緑の豊かな街に・・・

温暖化防止に向かって、社会で取組む大きな課題も重要ですが、家庭で取組み日々の生活の中で意識をもって、楽しみながら努力することが大切です。

東京都文京区の谷根千といわれる一帯は、100か所ほど井戸があり現在でも利用され、木々とあいまって常に3度ほど温度が低いといわれています。

○ 花と緑のマップを作り、オープンガーデンの開催

今年は近隣市でオープンガーデンが開催され、一般の家庭の参加もあり楽しく拝見することができました。

鳩ヶ谷市内でも庭が多々あるかと思しますので、是非とも開放していただき、街路樹・屋上緑化・壁面緑化・斜面の植栽・花の情報を、インターネットなどで募集しまとめ、「花と緑のマップ」を作るようにして、皆さんにお知らせをし、緑あふれる街になればと願っています。

○ 一人1本の植樹

人は1年で1本以上の木を、ペーパー等々で使っているといわれています。

各家庭に送られてくるダイレクトメールあるいは広告・チラシ等を断るだけでも、木の伐採を少なくすることができるのではないかと考えます。更に一人1本の植樹ができればなお素晴らしいことです。

③ 鳩ヶ谷のハート時間

家族で楽しみながらエコができる活動なら、皆さんの賛同も得ることができるのではないのでしょうか？ 家族一緒に過ごす時間が多くなれば、家族愛も深まる。まさにエコは「家族愛」からです。

温暖化防止の取組みは単純ではありません。家族とのふれあい、地域との共同など人と人との結びつきを深めながら取組んでいくことが大切です。

例として、下記のことを提案します。

一つの部屋に集まって家族団らんの機会を作りましょう。

- ・ TVなどの電化製品はつけずに、一つの部屋に集まり家族で会話を楽しむ
(消費電力や光熱費の削減！)
- ・ 家族の作った食事を、みんなで残さず食べる (団らんと、ゴミ削減！)
- ・ お風呂に短時間で続けて家族が入る (これで、沸かしなおし不要に！)
- ・ 市内食品会社に協力を仰ぎ、ソースの試供品を希望者へ配布し、ハートの日として鳩ヶ谷の名物のソース焼きうどんを作り食べ、どのような話をしたかなどの簡単なアンケートにお答えいただく。

日時：ゴロ合わせで設定。または、家族の記念日などを各家庭で設定。

少なくとも年間4回程度。

5月 8日：ゴーヤの日（花の種を配る）

8月10日：ハートの日

11月22日：いい夫婦の日

11月23日：いいファミリーの日など

時間：午前・午後ともに、8時～10時を「ハート時間」とする。

○ 電気を消してキャンドルナイト

地域の子ども会等で行事として啓発します。季節ごとに集会所で昔の囲炉裏端での語りべのお話会や映画会を開催するなどして、親子で地域交流をもちキャンドルナイトを行います。語りべや映画には地球に関心を持つような内容も取り入れ、意識づくりにつなげていけたら良いと考えます。

○ 鳩ヶ谷駅・南鳩ヶ谷駅の点灯式に家の電気の消灯

毎年冬に鳩ヶ谷駅前（今年度より南鳩ヶ谷駅も一緒）のイルミネーションを点灯しますが、点灯式を行う日は一度電気を消して鳩ヶ谷駅・南鳩ヶ谷駅で点灯式をするまでの間、電気のことを考える時間とします。

④ 我が家のエコシート

地球温暖化の要因として、いわゆる「温室効果ガス」による「温室効果」があげられます。この対策として、その主要ガスであるCO₂排出量の削減を、市民レベルで推進していくことを提言します。

具体的には、各家庭での電気使用量節約の啓発として、月々の電気使用料金をグラフ化（見える化）し、エコシート※として記入することを提案します。

また、省エネ家電の活用、車の利用を少しでも控えて電気、ガス、水道の節約を行うこと、更にビン・缶・古紙などのリサイクルを行い、かつリサイクルされた商品を利用することが必要です。

※エコシートは資料②に添付しています。

⑤ 道路照明灯・防犯灯などのLED化の推進

公共施設でのLED照明の積極的採用を提案します。

近年、技術の進展で、LED照明の実用化開発が進み、次世代の照明として、官民間問わずに、急速に普及しています。

道路照明灯・防犯灯などをLED化することにより、電気使用量が従来照明の1/2から1/3節約でき、その寿命も約4倍近く延ばすことができ、産業廃棄物の削減効果も大きく、CO₂削減に大きく貢献します。実行できるよう予算化を、要望します。

⑥ エコドライブの啓発

我が国にマイカーブームが到来し、自動車が広く普及したのはせいぜい60年ぐらい前からだと思います。

二酸化炭素による温暖化問題への影響が大きいのは“車”です。この課題を解決するために、エコドライブの啓発※（運転方法の改善）も大切です。車を運転するときには急な加減速は慎み、経済速度や燃費を意識して走行しましょう。人にも環境にも優しい運転をすることが安心安全につながると考えます。

大衆化がされつつある燃料電池自動車・電気自動車・ソーラーカー等々環境に優しい車が安価で購入できる日が近い将来に来ることを望んでいます。

環境を考え、電車・バスなどの公共交通機関を使用することも大切です。

○ 自転車の利用

自転車での移動は、自転車道などの道路が整備されていれば安心し、利用も増えると考えます。

※エコドライブ10のすすめは資料③に添付しています。

7月より7回にわたって積極的な議論と試験的実証を重ねてきた結果、このたび具体的な取組み内容を報告書として取りまとめ、提言させていただく運びとなりました。

私たちの街、鳩ヶ谷市は東京都と隣接するなど埼玉県南部に位置しており、平成13年度には埼玉高速鉄道が開通し、都心へのアクセスの利便性が向上したことにより住宅都市化が年々進み、地域の緑は減少し、マンション等の建設が続いています。

人口の増加に伴い、約4人に1人が新市民という変貌する町並みや住民状況の中、市民コミュニティーも大きく変化し、新しい鳩ヶ谷のまちづくり、環境づくりを行う必要に迫られていると感じています。

身近な環境問題として、都市化が進むと夏に気温が高くなるヒートアイランド現象の発生があげられます。この原因は、太陽光線により空気が加熱されるだけではありません。鳩ヶ谷の街の多くもコンクリート・アスファルトなどの水を保持し難い材料で作られている為に、断熱圧縮効果により、更に空気が温められます。これらの複合効果により、夏場を中心にヒートアイランド現象が発生していると思われます。

市民にできるエコ活動をテーマとする環境市民会議としては、身近な環境問題であるヒートアイランド現象の解消に着目し、日々の暮らしで市民が無理なく住生活の改善による問題解消方法を検討しました。その結果、第3回環境市民会議では、市民が取り組める地球温暖化対策として、打ち水活動を通じた環境意識の向上を提唱することにいたしました。

打ち水をすることで、道路の表面温度が下がり、周囲の気温が低下するため涼しい夏を過ごすことができ、ヒートアイランド対策に繋がります。また、日本のCO₂排出量の約半分は家庭と関係し、日常生活の中で省エネ・節電・節ガスなどをすることが一番の温暖化対策であると言われています。打ち水の効果によって、「ヒートアイランドの減少→エアコン使用量の減少→発電所から出るCO₂

の減少→温室効果ガスの減少」という手順を踏んで、地球温暖化防止に寄与するばかりでなく、活動を通じ様々な地球の現状や家庭でも簡単にできる対策を知ることによって地球温暖化防止に繋がると考えました。さらにこの打ち水活動を環境市民会議の関係者だけでなく、自治会・商店街・企業など様々な団体と連携し、市民・事業者・行政の3者が一体となった活動展開を目指すことにしました。打ち水で気温を下げる効果は、実績により認められていますが、少人数で打ち水をしてもその影響は微々たるものです。市内が一体となり取組むことで、ヒートアイランド対策にも環境意識向上にも確実に効果がでると思われれます。いろいろなまちおこしにおいても同じで、少人数がいくら頑張ってもできることには限界があります。しかし、小さなことでもたくさんの人が協力すれば、それはやがて大きな影響力を持つようになるのです。そういう点でこの打ち水活動は、まちおこしの一環として取組んでいくべきだと考えました。それに伴い、実験的に打ち水活動と効果のモデル事業を8月28日(土)に実施する運びとなりました。市民全体に活動を呼びかける前段として、これまでも様々なまちおこしの中心となってきた商店街の協力を呼びかけ、全商店街参加のもと、夕方に各地一斉に打ち水を実施し、ひやりとした風とともに涼しさを体感しました。また効果の確認の為、東公団通り商店会内では温度減少の実測も行い、参考データを得ることができました。

商店街を中心に行おうとした目的はもう一つあります。鳩ヶ谷は、江戸時代に日光御成道の開通と共に鳩ヶ谷宿として栄えてきました。その江戸時代の庶民の伝統的な知恵を再活用し、世代関係なく誰でも気軽に楽しく参加できる打ち水を利用して、地域の活性化効果を図ることも期待しています。ゆくゆくは、商店街や地域活性化の一つとして、参加者が江戸時代の恰好をして打ち水を行う一大イベントにするなどまちおこしと連動させていただきたいと考えています。このように、地球環境及び鳩ヶ谷宿の歴史に配慮した対策で、持続可能な地域活性化や活力あるまちづくりと環境問題意識を繋げていきたいと考えています。

また、世界に目を向けてみますと、地球全体では現在、地球温暖化対策が叫ば

れ、国連 I P C C の報告によると、このまま地球温暖化が進むと水や飲料が世界的に不足し、25年後（2035年）には世界人口の大半にあたる約50億人が水不足になると予測されています。また、今後100年以内に世界中で米や小麦などの収穫が大幅に減少するなど、深刻な食糧不足が警告されています。すでに異常気象による干ばつや洪水が世界中で多発しており、こうした水不足や食糧危機に対する地球の S O S の声が現れ始めています。

これからの環境政策は、地球環境の保全を進め、良好な環境を将来の世代へ引き継ぐという目的に立って諸活動を進めていくことが重要です。「大人が変われば、子どもも変わる」 私たち環境市民会議では、この精神が環境問題を考える上で大事なことであると考えています。次の時代を担う子どもたちに、大人が率先して地球の未来を考え、守る小さな活動を続けていけば、子どもたちはしっかりと見ていて学び、共に行動するようになります。そんな子どもたちを育む活動を推進することが、100年後、200年後の鳩ヶ谷のまちづくりや地球の温暖化対策に繋がる大切な架け橋となると信じています。

① 打ち水モデル事業報告

今回、会議が進んでいく段階で、提案だけでなく市民自らも事業所や市と協働して動いていかないと温暖化防止対策は進んでいかないのではないかと、また、実際に行ってみることで具体化できるのではないかとという意見が提案され、本年度、出来ることからモデル的に進めてみたいということになり、平成22年8月28日16時半～17時に鳩ヶ谷市商店会連合会、鳩ヶ谷市商工会、鳩ヶ谷市全商店会のご協力をいただき開催の運びとなりました。

まず、浄水場で東公団通り商店会の方及び水道課の方の協力を得て、打ち水を行う前と行った後の気温の変化を確認することにしました。

当日は赤外線温度計で計測し、浄水場に設置してある気温測定器の参考データもいただき、16時から17時の気温変化の参考データはグラフⅠ、観測日を挟んだ8月27日から29日の3日間の気温測定参考データはグラフⅡのとおりです。

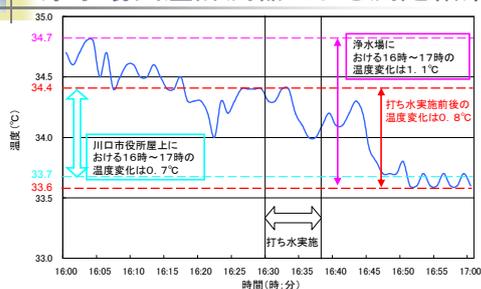
南鳩ヶ谷駅前では、舗装してある歩道にまかれた水が、蒸発してしまうくらい地表が暑く、本来の打ち水とは言い難いかも知れませんがホースで水撒きをし、10分程散水すると地表に水を打った形跡が残る状態でした。20分後の測定で（赤外線温度計 およそ同じ場所）2℃下がり、地表温度は10℃近く（当初46℃打ち水後36、5℃）温度が下がりました。商店街では、歩道部分に、水がまかれ、15分後の測定で2℃近い温度の降下が見られました。

この日は、鳩ヶ谷駅まちづくりサポーター・夜祭り実行委員会にて、鳩ヶ谷駅で恒例の打ち水イベントを行っており、この状況も見学させていただきました。

感想としては、駅前も、商店街も同じですが、全体の一部分しか水打ちできず、気温の降下もその場所しか見られず、市全体の温度を下げるには、自治会や商店会の協力を得たり広報活動をすることによって、前もって準備（雨水などの打ち水用の水の確保）し、大勢の鳩ヶ谷市民が打ち水事業に参加すれば、市全体の温度を下げることは可能だと思います。

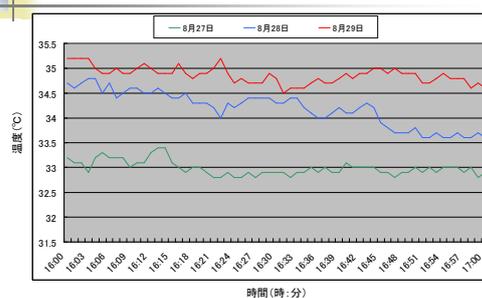
[参考データ]

浄水場気温計測器による測定結果



グラフⅠ

8月27日～29日の気温観測データ



グラフⅡ

〔打ち水モデル事業報告写真〕



浄水場駐車場での事業の様子



鳩ヶ谷駅まちづくりサポーターによる
夜祭りでの打ち水の様子を見学



南鳩ヶ谷駅前での事業の様子

我が家のエコ活動

毎月の電気代を節約し、CO2削減に協力、地球温暖化阻止に貢献します。

環境の写真
..... 温暖化の影響



環境大臣	
財務大臣	

- | | |
|----------------|--|
| 節電効果の目安 | 電氣使用量100Wを1時間使うと 約¥2.2支払います。 |
| 1、冷房のエコ | : 1日1時間冷房運転時間を短くする。 1ヶ月で約¥115節約できます。
: 1日2時間冷房とめて扇風機を使う。 1ヶ月で約¥161節約できます。
冷房の設定温度を1℃あげて28℃に設定する。 |
| 2、暖房のエコ | : エアコンの設定温度を1℃下げて20℃に設定する。 1ヶ月で約¥215節約できます。
: 電気カーペットの設定を“強”から“中”に調節する。 1ヶ月で約¥755節約できます。 |
| 3、照明のエコ | : 丸型蛍光灯(30W+38W)を1日1時間消灯する ⇒ 1ヶ月で約¥47節約できます。 |

埼玉県:家庭のCO2削減ハンドブック より

(千円)												
120												
115												
110												
105												
100												
95												
90												
85												
80												
75												
70												
65												
60												
55												
50												
45												
40												
35												
30												
25												
20												
15												
10												
5												
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
エコのポイント												



ふんわりアクセル「eスタート」をしよう

チーム・マイナス6% www.team-6.jp

地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう！ ひとりひとりのドライバーの心がけて地球環境を守ろう

エコドライブ10のすすめ

1 ふんわりアクセル「eスタート」 「やさしい発進を心がけましょう。」

普通の発進より少し遅やかに発進する（最初の5秒で時速20キロが目安です）だけで11%程度燃費が改善します。やさしいアクセル操作は安全運転にもつながります。時間に余裕を持って、ゆったりした気分で運転しましょう。

6 暖機運転は適切に 「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう。」

現在販売されているガソリン乗用車においては暖機不要です。寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。暖機することにより走行時の燃費は改善しますが、5分間暖機すると160cc程度の燃料を浪費しますので、全体の燃料消費量は増加します。

2 加減速の少ない運転 「車間距離は余裕をもって、 交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう。」

車間距離に余裕をもつことが大切です。車間距離を詰めたり、速度にムラのある走り方をすると、加減速の機会も多くなり、その分布街地で2%程度、郊外で6%程度燃費が悪化します。また、同じ速度であれば、高めめのギアで走行する方が燃費がよくなります。交通の状況に応じ、できるだけ速度変化の少ない安全な運転をしましょう。

7 道路交通情報の活用 「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の 情報をチェックしましょう。」

1時間のドライブで、道に迷って10分余計に走行すると14%程度の燃費悪化に相当します。地図やカーナビ等を利用して、行き先及び走行ルートあらかじめ計画・準備をしましょう。また道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃料と時間の節約になります。カーナビやカーラジオ等で道路交通情報をチェックして活用しましょう。

3 早めのアクセルオフ 「エンジンプレーキを積極的に使しましょう。」

エンジンプレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンプレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンプレーキを活用しましょう。

8 タイヤの空気圧をこまめにチェック 「タイヤの空気圧を適正に保つなど、 確実な点検・整備を実施しましょう。」

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度、それぞれ燃費が悪化します。また、安全運転のためにも定期的な点検は必要です。

4 エアコンの使用を控えめに 「車内を冷やし過ぎないようにしましょう。」

気象条件に応じて、こまめに温度・風量の調整を行いましょう。特に夏場に設定温度を下げすぎないことがポイントです。外気温25℃の時に、エアコンを使用すると、12%程度燃費が悪化します。

9 不要な荷物は積まずに走行 「不要な荷物を積まないようにしましょう。」

100kgの不要な荷物を載せて走ると、3%程度燃費が悪化します。車の燃費は荷物の重さに敏感です。差ぶ必要のない荷物は、車から下ろしましょう。

5 アイドリングストップ 「無用なアイドリングをやめましょう。」

10分間のアイドリング（ニュートラルレンジ、エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を浪費します。待ち合わせや荷物の積み下ろしのための駐車の際にはアイドリングを止めましょう。

10 駐車場所に注意 「渋滞などをまねくことから、違法駐車はやめましょう。」

交通の妨げになる場所での駐車は交通渋滞をもたらす余分な排出ガスを出させる原因となります。平均車速が時速40kmから時速20kmに落ちると、31%程度の燃費悪化に相当すると言われてます。

データ出所：(財)省エネルギーセンターなどの測定結果

エコドライブ普及連絡会
(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

エコドライブについて、詳しくはこちらまで → www.team-6.jp/ecodrive/



鳩ヶ谷に住む市民の皆さんが、それぞれの視点から「こんな鳩ヶ谷にしたい」という想いをまとめた報告書が出来上がりました。

検討する中で、提案の1つである“打ち水”に実際に取り組もうということになり、この実践を通じてより一層具体的な内容になっていったと感じています。さらに議論の中で、“環境”に取り組むことは、“まちづくり”にもつながっていくという話が皆さんから出され、“環境”を通して人と人のつながりを取り戻していきたいという想いも加わっていきました。とても素敵だと思います！

環境問題の解決には“Think Globally, Act Locally（地球規模で考え、足元から行動する）”という考えが大切だと言われています。今後、ここに書かれている一つ一つの提案が、これを見たすべての皆さんの手によって実現されることを心から願っています。これからは楽しみです。

アドバイザー 浅羽 理恵

初めて顔を合わせるメンバーで討議する会議ということもあり、当初は各自の得意分野における議論が展開されていましたが、回を重ねるにつれて「簡単な試みでもいいから多くの市民に環境問題を意識し、参加協力してもらえる活動を展開しよう」という議論へと委員の意識改革がなされ、今回は初めての試みとして報告書をまとめる前段階として実験的な事業経験をできましたことは、事業報告をまとめるに当たり、大変貴重であり有意義な経験であったと思います。

過去2年間の環境市民会議の活動と同様、一歩ずつではありますが着実に市民の生活に根付いた運動として、効果が上がっていくことを願っております。

最後に、4ヶ月にわたり、私たちメンバーとともに環境市民会議に携わっていただいたアドバイザーの浅羽氏ならびに事務局に対し、心から感謝申し上げます。

座長 安田 茂

皆様のご協力により、環境市民会議の副座長を無事務めることができ感謝しています。

ほとんどの会議は机上の空論で終わり空しさが残るのですが、今回はいくつかの案が出され、その一つを実行することができました。実験的にでも実際に「打ち水」ができたことは大きな成果であったように思います。

なかなか考えや思いを現実化するのは難しいのですが、市のサポート、タイミング、それに行動力のあるメンバーが集まったことも大きな力になっていたのではないのでしょうか。

この会議に参加し、愛とエコ、そして街づくりを結びつけ、これからも無理せずぼちぼち楽しみながら、身近な環境を考え活動していけたらいいなと思いました。

今年の成果をふまえて、来年は鳩ヶ谷エコ事業として「打ち水」「緑のマップ作り」「鳩ヶ谷ハート時間」などの提言の実現を願っています。

副座長 四條 延子

私自身たまたま旧芝川を綺麗にしようと、テレビ番組名「宇宙船地球号」の企画に参加し、どぶ川だった川に魚が戻ってきて、水鳥が飛び交うまでになり、引き続きさいたま県土整備事務所の水辺再生事業に参加しているさなか、何の会議なのかわからぬまま、山本さん、お願いしますとの事で、今年度の環境市民会議に参加しました。

最初の顔合わせは、たまたま体長不良で、あまり覚えておりませんでした。座長が決まり、その後の会議で今年目標が決まった頃には、会議に参加しているメンバーの顔も覚え、そして鳩ヶ谷市の温度を下げようと、考えてみれば大変な企画で、これをどのようにして実行するかなど、真剣に会議が進み、目標に向かって皆さんが前向きに討論したことは、今まで味わったことのないなんともいえない感覚でした。そして実行に移り、多方面、大勢の皆さんが参加して、多少なりとも結果を出せたことは、みんなの努力の賜物でしょう。

次年度も引き続き環境市民会議は継続されることでしょう。また、新しい企画で、どんな方たちが参加するのちよっと覗いてみたい気持ちになったのは私だけでしょうか。

副座長 山本 晃嗣

地球温暖化がこんなに深刻になってしまい、これから子どもたち、そのまた子どもたちの時代はどうなってしまうのだろうか。私たちの責任は大きく、自分もそのひとりなのだとは常々気にかけていました。

この環境市民会議に参加して、みなさんの豊富な知恵や専門的な知識に圧倒されました。刺激され、私自身日々の生活の中で以前よりも意識した行動が向上しています。そして、自分たちの住んでいる鳩ヶ谷の環境をよりよくしていきたい熱意のこもった話し合いから、より多くの人々と連携して取り組んでいく大切さを感じました。

また市民と行政が共に取り組む会議のありかたに感銘しました。みなさんからたくさんのことを学ぶことができ、ありがとうございました。

阿部 まち子

鳩ヶ谷市に越して来て20数年ですが、単身赴任も多く、これまで、市政、市行事には、無関心でした。今回、市の広報で環境市民会議の存在を知り、何かお役に立つことができるのではとの思いから、参加させていただきました。

メンバー皆さんの話を伺い、行政は、市役所のみならず、市民の熱意とボランティア活動で支えられていることを実感いたしました。

当初、市民会議は、市への提言会議と認識していましたが、参加メンバーの皆さんが、提言にとどまらず、自らが実行部隊として活動しようとしていることに驚き、刺激され、敬意を表します。

市役所職員とこのような市民とが一体感をもって、活動していくとすばらしい町（地区）づくりができると思いました。

河端 輝一

よく見聞きする「CO₂削減」。これは言い換えれば、削減分以外は排出してもよいということになると思います。排出を認めた分のCO₂を吸収する植物やサンゴなどの生物が存在しない限り、大気中のCO₂濃度は減少していかないと、思います。CO₂を出さないアクションはとても大事ですが、緑を増やす、緑を守るということはそれ以上に大事なことだと思えます。

低炭素、結構。ただ車や過度な電気使用を控える（＝我慢）というのはどうでしょう。今回の環境市民会議ではネガティブな発想ではなく、楽しい、あるいは仲良くという、ポジティブな視点での提案、提言ができたのはとてもよかったと思えます。

真夏に鳩ヶ谷駅に降り立って、涼しい風が吹いてくれば、それだけで豊かな感じがすると思えます。

肥留間 広幸

いまやこの青く澄んだ水の地球をいかに取り戻す事ができるか、現代に生きる人々に与えられた課題となっています。

今回で3回目となりました環境市民会議、初回の市民生活における環境問題～緑でつなぐ街づくり～、2回目の緑でつなぐ街づくりPart 2～緑・公園～と今回のテーマとなった～鳩ヶ谷市内の温度を1度下げよう～等々、いずれも多様に絡み合った重大な問題ばかり、これからもみんなで知恵を出し合い、連携しあいながら実施して次代に引き継いでいけたらと考えます。

このような大きな問題を提起していただき話合いの場を準備していただいた、鳩ヶ谷市民環境部環境対策課事務局の皆様及び環境アドバイザー浅羽様に敬意を表したいと思います。

宮元 恒男

元々ガーデニングに興味があって、市の催しに参加したことで温暖化防止とエコになることを学んで、実際にグリーンカーテンを作りました。自分の好きでやっていることが奥深いことに気付いた所に環境市民会議に参加しないかと声をかけられました。

この会議に参加して、皆さんの意見や実際に行動を起こそうとする提案を聞いて、自分の考えていた以上に市民一人ひとりがエコ活動に参加できることを知りました。

身近な活動としては、水を撒くことによってヒートアイランド現象を緩和させる効果があることを話し合っ、鳩ヶ谷駅前での打ち水フェアを行いました。それから、緑は空気をきれいにするだけでなく、人の心を癒してくれる存在です。都市計画の中に緑を増やすことを考えて頂ければうれしいです。

ガーデニングだけでなく、色々な意見を聞いて有意義な時間を過ごせました。有難うございました。

村上 綾子

「市民生活における環境問題～地域で取組む地球温暖化対策～」と莫大なテーマに何をターゲットに絞り話合うのか、初対面の人間が集められ4か月余りで何ができるのか？戸惑うばかりのスタートでした。

ガーデニングが好きで、ご近所の方にも喜んでもらっている。こんなこともエコになるのかな？と気軽な気持ちで参加した私は、個性的な方々の専門的な意見が飛び交う討議に、場違いな所に来てしまった思いでした。しかし「鳩ヶ谷の温度を1度下げよう」と面白そうな議題にも興味が湧き、毎回盛りだくさんの話が聞け、一度も欠席すること無く終わりを迎えました。

メンバー、アドバイザー、事務局、皆さんのパワーでこんなにもたくさんの方の提言が出来たことは素晴らしいです。提言で終わらず、今後も実現に向けてお手伝い出来たら嬉しく思います。今回の会議に参加でき、メンバーに出会えたことに感謝します。

安田 さち代

予定が重なり、あまり参加はできませんでしたが、環境対策としてのアイデアや行動をされているメンバーの方々の熱意にはとても感動しました。このような意識が多くの人に連鎖し、行動につながるよう自分も働きかけていきたいと思っています。

子育てをしている今、まわりのお母様方や子ども達にこの会議で学んだことを伝え、環境について日常生活で意識し、取り組むきっかけや気持ちを育みたいです。

環境市民会議に関わられたすべての方々に感謝致します。

和知 幸子

平成22年度

鳩ヶ谷市環境市民会議報告書

事務局	鳩ヶ谷市市民環境部環境対策課
〒334-8511	鳩ヶ谷市三ツ和1丁目14番地の3
電話	048-280-1111 (代表)
FAX	048-285-1102
メール	kankyo@city.hatogaya.saitama.jp